

エル・システム フェスティバル 参加公演
フランシスコ・フローレス トランペット・リサイタル
ベネズエラから世界の舞台へ！モリス・アンドレ国際コンクールを制した天才トランペッター
2013.10.8 (tue) 公開レッスン 16:30 開場 / 17:00 開演 リサイタル 18:30 開場 / 19:00 開演
公開レッスン：全席自由 500 円 リサイタル：全席指定 4,000 円 Lコード：37462



オーケストラ活動を通じて多くの子供たちに希望を与えてきた音楽による人材教育システム「エル・システム」出身で、南米出身者として初めてヨーロッパの権威あるコンクールを次々制覇した、いま世界が最も注目するトランペッター、フランシスコ・フローレス。現在「シモン・ボリバル交響楽団」の首席奏者として活躍するとともに、日本でも「サイトウ・キネン・オーケストラ」に客演するなど世界中で活躍しています。今回のリサイタルは、満を持して名門ドイツ・グラモフォンからリリースされるレパートリーも交え、フローレスのいまを聴くエキサイティングなステージです。同時に後進の指導にも力を注ぐフローレスが、日本の子供達を指導する公開レッスンも開催。「エル・システム」の教育法を目の当たりにすることができる、絶好の機会となります。

フランシスコ・フローレス (トランペット)

大室晃子 (ピアノ)

公開レッスン受講生：渋谷区青少年吹奏楽団 トランペットパート団員

テオ・シャルリエ：コンクールの独奏曲

パブロ・デ・サラサーテ：ツィゴイネルワイゼン op.20

アレクサンドル・ゲディケ：演奏会用練習曲 op. 49

アントニオ・サンチェス・ペドロ：1969

アキレス・バエズ：アンダルシアの小品

サンティアゴ・バエズ：私のお兄さん

ジョゼフ・トゥリン：カプリース

他

●Hakuju Hall チケットセンター

電話：03-5478-8700 (10:00～18:00 火～土／祝日・休館日を除く)

◆ フランシスコ・フローレス (トランペット) ◆ Francisco Flores, trumpet

1981 年ベネズエラのサンクリストバル生まれ。8 歳から父の手ほどきでトランペットを学ぶ。その後優れた才能を見せ、カラカスに移り、IUDEM (Instituto Universitario de Estudios Musicales) にてエドゥアルド・マンサニツリアに師事。さらにフランスに渡り、リュエイユーマルメゾン・レジョン国立音楽院で名トランペット奏者、エリック・オビエの指導を受け、2005 年にソリスト・ディプロマ取得。卒業時に試験官の満場一致により「ヴィルトゥオーゾ賞」を授与。ソリストとしての活動はベネズエラから始まり、全ての主なベネズエラ・コンサート・バンドやオーケストラと共演。国際的にも、イタリアのヴェネツィアでベネズエラ・ナショナル・ユース・オーケストラとソリストとして共演し、スペインとフランスでリサイタルを開いた。ラテン・アメリカ出身のトランペット奏者として初めてヨーロッパの数々の権威あるトランペット・コンクールに入賞するという快挙を果たしている。日本では N 響や大阪フィルと共演。'11 年には小澤征爾の招きでサイトウ・キネン・オーケストラにも参加した。主なコンクール受賞歴は、'05 年フランスのギューブヴィラー市フィリップ・ジョーンズ国際トランペット・コンクール第 1 位、'06 年モーリス・アン・ドレ国際トランペット・コンクール第 1 位および特別賞受賞(サルヴァドール・チュリア・エルナンデスによるコンクール委嘱作品の最も優れた演奏に証する特別賞)、そして、同年イタリア・ポルチア国際トランペット・コンクール第 1 位などである。故郷タチラの主なコンサートバンド・メンバーやベネズエラを代表するオーケストラのメンバーとしても活動の続け、現在は、シモン・ボリバル交響楽団の第 1 トランペット奏者として、チリ、アルゼンチン、ウルグアイ、アメリカ、イタリア、ドイツ、オーストリア、スペインなどの国際フェスティバルに多くの出演をしている。現在もスペイン・ブラス・アカデミーのファン・ホセ・セルナやカルロス・ベネトラのマスタークラスに参加をする他、エリック・オビエとフランク・ブルチャーニにも指導を受けている。さらに、教育者としてはベネズエラのカラカスで国際トランペット・アカデミーを創設するほか、タチラのアンデアン音楽院で後身の指導にあたっている。'07 年には、フランス、スペイン、イタリア、台湾、ニューヨーク、シカゴやその他の都市にツアー、マスタークラスも行う予定である。ヨーロッパ、アメリカやラテン・アメリカでマスタークラスを受けるなど研鑽を積み、ハイロ・エルナンデス、ラミロ・ラミレス、アルフレッド・ダッドーナ、ウラディーミル・カフェルニコフ、ジャン・フランソワ・ディオン、ニコラス・エクルンド、クラウディオ・ロディッチ、グスタボ・ベルガリ、ローラン・マレー、ギリョーム・クルミー、ピエール・ティボー、マーセル・ラゴルズ、フランク・ブルチャーニ、エリック・オビエ、ヨウコ・ハルヤンネ、ラインホルト・フリードリヒ、Dr.ギルバート・ジョンソン、ロルフ・スメドヴィックの各氏に指導を受けている。また、シモン・ボリバル金管五重奏団の創立メンバーとして、ベネズエラはもとより、ペルー、コロンビア、チリ、エクアドル、ウルグアイ、アルゼンチン、アメリカ、イタリア、ドイツ、ポルトガル、スペイン、フランスにツアーを行っている。'03 年、フランスのエプシロン・アンサンブルによって組織された「インターナショナル・ブラス・フェスティバル」でリモージュ・サン・ティリエ市から名誉賞を受賞した。同年、フランスのギューブヴィラーで開かれた「フィリップ・ジョーンズ国際コンクール」のファイナリストになった。'04 年、五重奏団は再びスペインのバレンシアを訪れ、「スペイン・ブラス・アラツィラ 2004」国際音楽祭に参加した。

◆ 大室晃子 (ピアノ) ◆ Akiko Omuro, piano



東京生まれ。東京藝術大学音楽学部付属音楽高等学校、東京藝術大学、同大学院修士課程を経て渡独。フライブルク音楽大学を卒業後、バーデン・ヴュルテンブルク州立銀行の奨学金を得て、シュトゥットガルト音楽・表象芸術大学大学院ソリスト課程へ進み、首席で修了。国家演奏家資格を最優秀で取得。ヨーロッパ各地での演奏活動の傍ら、シュトゥットガルト音楽・表象芸術大学にてピアノ科助手として教鞭をとり、管楽器科の伴奏助手も務めた。ミュンヘン・ユース・オーケストラに所属、フライブルクの教会で教会音楽師を務めるなど幅広い研鑽を積んだ。日本に帰国してからは、全国各地でソロ・リサイタルを開催。歌曲伴奏や室内楽などの分野にも活躍の場を広げており、様々な演奏家の共演パートナーとして絶大な信頼を得ている。また、学校や病院を回る「アウトリーチ・コンサート」活動にも力を入れている。これまでに、植田克己、岡崎悦子、浜口奈々、ヴィタリ・ベルズン、ヴォルフガング・ブローザーの各氏に師事。現在、東京藝術大学非常勤講師(指揮科演奏研究員)、上野学園非常勤講師として後進の指導にあたっている。(社)日本演奏連

盟会員。大室晃子公式ウェブサイト www.akiko-omuro.com

◆渋谷区青少年吹奏楽団◆ Shibuya-ku Youth Brass Band



1978年5月に創設された、今年で36年目を迎える渋谷区在住・在学の小学5年生から高校3年生までが集まる吹奏楽団。「定期演奏会」「サマーコンサート」「クリスマスコンサート」のほか、「くみんの広場フェスティバル」「新成人を迎えるコンサート」「恵比寿文化祭」など区や地域の行事に積極的に参加し、渋谷区の音楽文化活動に貢献している。'88年にはドイツとチェコ、2008年にはオーストリア等で海外演奏を行う。現在、約50名の団員が佐藤正人先生の指揮のもと、講師とともに一層の技術向上を目指し、楽しんで練習している。

ーエル・システムとはー

世界中から注目され、すばらしい成果を上げている音楽による人材教育システム「エル・システム」。1975年に南米・ベネズエラで創設され、いまや世界20か国以上で取り上げられているこの壮大なプログラムは、教育の世界のみならず各方面から高く評価されるまでに至りました。

特に現在では、ロサンゼルス・フィルハーモニックの音楽監督を務めながら、ベルリン・フィルやウィーン・フィル、ミラノ・スカラ座など名だたるオーケストラや歌劇場に客演している指揮者、グスターボ・ドッダメルをはじめ、17歳でオーケストラの頂点でもあるベルリン・フィルの正規団員になったエディクソン・ルイスなど、エル・システムで音楽教育を受け、その後、世界の檯舞台に飛び立ち大活躍しているアーティストたちが続々と出てきています。

世界中の青少年たちが貧しくても音楽を演奏することを通じて、社会や隣人とのコミュニケーションや協調性など社会人として必要な力を学び、誇りと自信を持った人生を歩むことで、豊かで平和な世界を築くことができる、この教育理念に多くの人が共感しています。

株式会社白寿生科学研究所の健康の理念の一端を担うために建てられ、本年開館10周年を迎えるHakuju Hallでは、今回「エル・システム フェスティバル2013」の一環として、エル・システムで学び、国際コンクールを総なめにし世界中で大活躍のトランペット奏者、フランシスコ・フローレスと、先に述べたコントラバス奏者、エディクソン・ルイスを招き、それぞれのリサイタルと、公開レッスンを行ないます。

話題のアーティストたちの演奏と、エル・システムで育まれた彼らの人間性に触れることができる、またとない機会です。

主催:Hakuju Hall/株式会社白寿生科学研究所

協力:一般社団法人エル・システム ジャパン/KAJIMOTO エル・システム室

後援:駐日ベネズエラ・ボリバル共和国大使館